



今宿小学校 学校だより



令和5年度1月号 令和6年1月9日発行

校長 奥谷 みさ

新しい年を迎えました

今年もよろしくお願いいたします。

2024年、令和6年がスタートしました。今年の冬休みは、17日間といういつもより少し長いお休みとなりました。

年末年始を故郷で過ごすことがやっと叶う、という思いで帰省された方も多かったのではないのでしょうか。そんな年始に、能登半島地震、羽田空港での飛行機炎上と、心痛むニュースが相次いで届きました。日を追っ

て被害の大きさが伝えられ、自分には何ができるのだろうか、自問自答するばかりです。子どもたちに、この震災・事故を自分ごととしてとらえ、いつものように学校に来て過ごせることのありがたさ、尊さを伝えていくことが、私にできることの一つである。そう考え今日の朝会を迎えました。

今年の干支は甲、十二支では辰にあたるため、甲辰(きのえたつ)の年になります。この二つが合わさると、新しいことを始めて成功する、今まで準備してきたことが形になるといった縁起の良い年になると考えられるようです。(前回の甲辰は1964年、アジア発開催の東京オリンピックが開かれました。)2024年のスタートとともに、学校では学年のまとめの時期となります。各学年で力をつけてきたことが実を結び、自信をもって次の学年へ進めるよう、気持ち新たに子どもたちとともに教育活動に取り組んで参りたいと存じます。6年生にとっては、大きな一歩を踏み出す年です。小学校生活を充実して過ごせることを願っております。



1月4日、今宿小校舎4階から撮影した富士山です。

今小フェスティバル 子どもたちのアイディアの素晴らしさが花開きました

12月21日、延期していた「今小フェスティバル」を開催しました。当日は、2・3・5・6年生が各クラスでお店を開き、4年生、ぽぷら級はそれぞれまとまって一つのお店を出しました。お店を回っていくと、子どもたちのアイディアに思わず笑ってしまったり、すごいと感激したり、なるほどと感心したり、。子どもたちのアイディアの素晴らしさに感動するばかりでした。お店のネーミング、工夫されたゲームのルール、段ボールを使っての大きなゲーム用具、色んな種類の景品、お店の準備を一生懸命してきたことが伺えました。子どもたちには、「お店番の人はお客さんを楽しませようと、お客さんはお店の人の説明をよく聞いて楽しもうと、みんなが相手のことを大切にしている姿、とても素敵でした。お店番の人の笑顔が、お客さんを笑顔にして、お客さんの笑顔を見てお店番の人がうれしそうな笑顔を見せる。そんな笑顔いっぱいの人々をみて、先生たちも笑顔になりました。みんなで作った今小フェスティバルが楽しい時間となったことが、冬休み前の大きな思い出となりました。」と今小フェスティバルへの頑張りを冬休み前の朝会で称えました。

